

長野県との意見交換会を開催しました。

令和5年2月8日

一般社団法人長野県砂利砕石業協会と長野県砕石工業組合が合同で、長野県の関係各課の皆さんと、長野市内において意見交換会を開催しました。

意見交換会は例年開催しているもので、公共工事における地産地消の推進、公共工事の平準化、骨材単価の速やかな設計単価への反映等について考え方をお聞きしました。

また、砂利採取に関しては、建設発生土の骨材への活用について、「長野県建設発生土受入地地域連絡会」の調整機能、河川砂利採取に関して規制の緩和、陸砂利採取の際の地元区の同意、等に関して意見交換しました。

県からは、インフラ整備に欠かせない骨材供給への提供に、官民一体となつての取り組みが必要である。また、許認可にあたり地域の組合と建設事務所相互の情報共有が重要である。と考えが示されました。

本会からは、松田文治会長、片井周一副会長、丸山功一副会長が出席し、また県からは建設部技術管理室、河川課、リニア整備推進局、森林づくり推進課より担当の方の出席をいただきました。

